

デیلیー・ジーザス・ニュース #212

イエスの宣教

パリサイ人はイエスの賢い管理人のたとえ話に反応する（#212）

ルカ16章14-18節

14 金銭を愛するパリサイ人たちは、このすべてを聞き、イエスをあざ笑った。 15 彼は彼らに言った。

あなた方は、他人の目には『正しい』ように見せかけているが、神はあなた方の心をご存知だ。人々が高く評価するものは、神の目には忌まわしいものなのだ。

16 「律法と預言者はヨハネの時まで宣べ伝えられていました。その時から、神の国の福音が宣べ伝えられ、皆がそれに入っていくのです。 17 法から一筆が消えるより、天地が消える方が易しい。

18 「妻を離縁して他の女をめとる者は姦淫を行うのであり、離縁された女をめとる男も姦淫を行うのである。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ペレアのどこか
タイムライン	1月または2月（36ヶ月目と37ヶ月目）
イエスの生涯の文脈	第7段階：ペレアにおけるイエスの宣教
	A.ペレア全土におけるイエスの奉仕者たち
タイトル	の賢い管理人のたとえ話に対するパリサイ人の反応

コメント：

今日の朗読は、イエスが公然と敵視されていたパリサイ人を含む人々の目の前で、また人々の耳元で弟子たちを教えられたことを思い起こさせます。これは、ガリラヤ、ユダヤ、そしてペレアの町や村を巡る旅の途中でもそうでした。また、エルサレムの神殿で説教をされていた時も同様でした。

これは数ヶ月後のイエスの裁判で争点となるでしょう。イエスは誰にも隠すことがなく、誰も恐れませんでした。イエスがそうできたのは、常に愛をもって真実を語ったからです。

デイリー・ジーザス・ニュース #212

パリサイ人たちは、イエスの「賢い管理人」のたとえ話と、それに続く忠実さについての教えを嘲笑していました。彼らは金銭を愛し、それによって神に仕えていると考えていました。イエスは彼らに真実を告げました。彼らの金銭への愛は神の目に忌まわしいものでした。

神の道と人間の考え方は大きく異なるため、富など、人間が大切にしているもののほとんどは、神の目には忌み嫌われるものです。逆に、神が高く評価するものは、罪深い人々によって軽蔑されます。イエスは、神の考えとパリサイ人の考えを隔てる溝の具体的な例を二つ挙げました。

第一の領域は福音そのものでした。トローラーと預言者は、洗礼者ヨハネが神の国の到来を告げるまで宣べ伝えられました。イエスは、自らの中に神の支配があるという福音を宣べ伝え、罪深い人々に悔い改め、イエスへの信仰を通して神との正しい関係に入るよう招きました。新しい契約は律法と預言者と矛盾するものではなく、むしろそれらを成就するものでした。

この「御国の福音」は神にとって非常に貴重でしたが、パリサイ人たちはそれをゴミのように扱い、イエスがそれを宣べ伝えたことを嘲笑しました。福音の価値に関して、神と人の間には深い溝がありました。

第二に、イエスは離婚に関する神の考え方とパリサイ人の考え方を対比させました。彼らは、法的書類が適切に処理されていれば、いかなる理由であっても離婚は本質的に悪いものではないと信じていました。離婚法の文言に正しく従うことが全てでした。彼らの目には、離婚は全く良いことだったのです。

イエスは、神は離婚を姦淫とみなすと言いました。イエスにとってそれは忌まわしいものでした。イエスがここで簡潔に述べた言葉はパリサイ人たちに非常に衝撃を与え、彼らはすぐにイエスのもとに戻り、この問題についてより深く議論することになりました。

罪深い人間の思いと神の思いは、常に相容れない矛盾を抱えているというイエスの指摘は、心に深く刻まれるものです。私たちが当たり前のこととして受け入れている行動や態度の多くは、実は私たちが愛し仕える神にとっては忌まわしいものなのです。神は聖なる存在であり、完全な愛と限りない善良さを持つ存在であるのに対し、私たちは自己中心的で、能力に限界があるからです。

イエスのこの教えは、私たちが考えることや行うことすべてをイエスに常に合わせる必要があることを強調しています。なぜなら、イエスだけが神の目に見えない本質の目に見える像だからです。

応用：

私たちは皆、イエスとの関係を始める時、あらゆる点でイエスとは全く異なる状態にあります。イエスを知れば知るほど、イエスの真の価値と無限の価値が何であるか、そして私たちが最も高く評価すべきものが何であるかを、より深く発見するようになります。同時に、私たちの中であって、神の目に忌み嫌われるものも、常に見出さなければなりません。それは他の方法ではありません。なぜなら、神の思いと道は私たちの思いと道とは全く異なるからです。

すべてをイエスに合わせる旅は、イエスの内に新たな宝を見出すと同時に、私たちの内に忌まわしいものを見出す、絶え間ないプロセスです。イエスに合わせるにつれて、私たちの汚れは取り除かれ、イエスの豊かさが私たちの内にますます豊かに宿るようになります。

デイリー・ジーザス・ニュース #212

したがって、弟子となることは、黄金を得るためにゴミを捨て去る過程です。それは、恵みが絶えず恵みに取って代わることです。

イエスは、あなたに従うために、どんな「忌まわしい」態度、習慣、考え方を捨て去るようにとあなたに呼びかけておられるのでしょうか。

そのゴミを処分するのと引き換えに、彼はあなたにどんな金銭を差し出しているのですか？

それをどうやって、いつ終わらせるつもりですか？